

教科書において、石原莞爾と満州問題をどう考えるべきか、という点で、以下の3点が、私なりに以前から気になっていた。

- 1、 私はそうは思わないが、満州事変を否定的に仮に考えたとして、日本以外が、自国の否定的な面を教育しているだろうか？という事。
- 2、 満州の当時の状況、歴史、他の国の政策との比較、つまり満州事変は、否定すべきでなく、むしろ誇るべき事であると考えてる。
- 3、 否定的に自国の歴史を教えることの影響が、いかに外交、社会、経済にも悪い作用をもたらしたか。

自国を大切に考えない現在の日本の教育は、他国民の支配の歴史が、戦後のアメリカの比較的短期間であった事と、当時のアメリカの経済力が、世界の中で占る割合が圧倒的に多く、また冷戦がすぐに始まり日本に対し、比較的寛大であった事、左翼的マスコミの影響等、日本人の人のよさなどがあると思うのですが、世界はもっと厳しい基準であるという事を知らなければならない。

満州は植民地とは違うけれども、植民地政策を謝罪しないのが、世界の常識であり、日本は非常識に謝罪している。オランダは首相が日本を見習おうとしたところ、退役軍人団体や、反対議員により、インドネシアへの謝罪はなされていない、サッチャー首相もインドへの謝罪は反対したし、ドイツもナチスの行為については謝罪してもアフリカの植民地での行為については謝罪していない。アメリカは13州から始めて現在の50州まで侵略して増えて、その間の星の数は侵略のグラフである。決して平和的にアメリカが大きくなった訳ではない。先住の人々の頭の皮を、大人の男性〇〇ドル、女性、子供、とランクをつけて、議会で買収価格を決め、集めさせた歴史がある。ナチス以上ではないかと思える。

中国は元の日本への侵略を教えていないというが、それならばチベットを併合した理由は元を言い訳にしているのは変である。長征時代の毛沢東と紅軍はチベット人が供給してくれた食糧がなければ死滅していたというが、チベット人の恩を、中国は仇で返し六百万人の内百二十万人を死に追いやった。大躍進後の飢饉の犠牲者が大部分であるそうですが、党内部用資料で八千万人が死亡したとの事です。

北朝鮮と中国、ソ連は朝鮮戦争で明らかに侵略を行ったがそれについて謝罪していない、日本も支那事変を謝罪するなら、中国、北朝鮮に謝罪を求めてもよいはずである。韓国は、中国や北朝鮮の教科書には文句を言わないのは公正ではない。日本はたしかに差別はあったけれども一方で陸軍中将の朝鮮の人がいた。そして日本人がその部下でいた。ベトナム人の陸軍中将でフランス人の部下があり得ただろうか？他国の悪い点を知り、時刻の悪い点も知り反省し、戦前の野郎自大という点は、誤りと認識しても、戦前の誇れる美点を認めず自国を価値のないものとするのは止めなければならない。

2、満州は漢民族のものではないという事は、まだ常識となっていない。私の友人が旧満州へ行った時に、何人も「昔は日本人が威張っていたが、今は漢民族が、そうしている。駅もキレイだったし、汽車も時間通りに動いた。昔のほうが良かった」という事を聞いたとの事でした。戦前アメリカで大学生のディベートで、満州国について討論したところ日本側が勝ってしまったそうです。衛生、教育、治安、経済等改善が大きく、もっともとも言えます。戦後台湾での混乱を考えると、満州事変によって、改善されたと考えるのは妥当な考えであると言えるでしょう。張学良が作ったのは、数軒のダンスホールくらいしか作らなかったと言われている。満州のダム見学に訪れたフィリピン外相はスペインやアフリカの植民地で四百年近く続いて、住民の生活向上に大きく役立つものは一つも作っていない事と比べ、わずか10年でこのような建設をしたと歓声をあげたという。

3、私は支那事変を拡大し、続けた東條は誤りで、否定しているが、それだからと言って、満州事変、大東亜戦争、東京裁判史観等で、日本は否定的な考えにとらわれすぎていすぎるのではないだろうか？最近の北朝鮮の問題でも、朝鮮戦争は北側の侵略と明白であったのだから日本は北朝鮮、中国は侵略国であると認識しておくべきだったし、そうすれば、靖国問題で言われたならば「なぜ自国民を八千万殺害し、韓国、チベット等を侵略した人物を天安門で大きく掲げているのか？」とも言えたし、北朝鮮を侵略国と認識しておけばもっと早く今日の北朝鮮の現況を伝えることができたはずである。日本の国旗、国歌に反対する意見があるが、英国の国歌はもっと王室を敬っているし、歴史を読めば日本以上に反対したくなる国旗はいくらでもある。誤った歴史教育のため、若い人々が誤った考えの下に行動していくこととなる。

最近 NHK で近衛文麿の曾孫が、満州事変から日米開戦までを調べていく番組がありましたが、満州事変に対する考えが、一方的に中国側だけであったのは不満でした。誤った教育がなければこのような事にもならないでしょう。竹島の問題や、朝銀、中国に対する ODA、米国債の問題でも自国を嫌うような教育を続けては、対外的に意味なく引き下がることとなりかねないでしょう。幸い若い人の中で石原莞爾が予言したとおり、東京裁判史観が「はなはだおかしいではないか？」と思う人が増えてきているのがいくらか救いと思います。人

気のある漫画家が石原莞爾を肯定的に描いています。私は十数年前は、石原の評価はこのまま誤ったまま固定してしまうのではないかと考えていましたが、現在は当時と比べれば改善したと思います。今後も活動が続ければ石原の正しい姿が認識される様になると思います。乱筆 乱文 失礼しました。